

ビゴン アンビリカル カテーテル PVC

再使用禁止

【禁忌・禁止】

<使用方法>

腹膜炎、壊死性腸炎、臍炎、臍ヘルニア、下肢あるいは臀部の局部血管の兆候がある場合には使用してはならない。

(これらの疾患を発症している患者に本品を使用することにより、疾患の増悪をきたす恐れがある。)

再使用禁止

再滅菌禁止

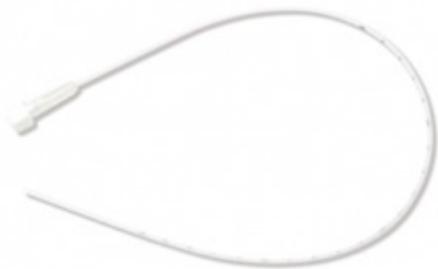
【形状・構造及び原理等】

本品は、新生児への臍静脈又は動脈に挿入し、血液の採取、薬液の注入等に使用する血管内留置用カテーテルである。

〈原材料〉

カテーテル：ポリ塩化ビニル

(可塑剤：TOTM(Trioctyl trimellitate))



【使用目的又は効果】

新生児への薬液投与。

本品は、新生児への臍静脈又は動脈に挿入し、血液の採取、薬液の注入等に使用する血管内留置用カテーテルである。

なお、本品は滅菌済み単回使用製品であるため、使い捨てし、再使用はしない。

【使用方法等】

(挿入法)

1. 把持鉗子を使用して、垂直に臍帯を持ち上げる。外科用メスを使用し皮膚から1cm上で水平に臍帯を切る。臍テープ上に軽く圧力をかけて出血をコントロールする。
2. 臍帯断端を持ち、真っ直ぐに保持し、血管を特定する。
3. カテーテルに生理食塩水を注入する。
4. カテーテルを挿入する血管を慎重に拡張させる。
5. カテーテルを血管に挿入し、カテーテルを骨盤に向かって前進させる。
6. カテーテル上のcmの印を使用して、カテーテルの挿入長に留意する。
7. カテーテルを穿刺しないように注意しながら臍帯の壁を縫合する。縫合糸を結び、安全のために糸の末端部分でカテーテルを結ぶ。
8. 貴院の規則に従って、カテーテルを整える。

(位置の調節)

常にカテーテルの位置をX線にて確認すること。

動脈カテーテル法においては、カテーテルの先端は下腹部大動脈の中、腎臓の起点と下腸管動脈より下で、大動脈の分岐部よりも上に位置させなければならない(すなわち、第三腰椎の底もしくは直下)。

静脈カテーテル法において、カテーテルの先端は、中心静脈系の静脈管(下大静脈)を超えて留置しなければならない。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品の抜去の前に、挿入部を丁寧に清浄する。挿入部に近い部分(2~3cm)で優しく一定の力で引っ張って抜去する。その際、本品を伸ばし過ぎてはいけない。
- 2) 緊急時には、本品を2.3cm(血液が逆流するまで)留置し、緊急用薬剤を投与する。また、投与後は使用した本品を抜去すること。

2. 不具合・有害事象

以下の症状、合併症が現れた場合には、適切な処置をすること。

重大な有害事象

- 1) 主な兆候や症状としては、挿入部に熱、赤み、腫れ、痛みや圧痛、分泌物が生じることがある。
- 2) 臍挿入カテーテル法に関して、以下の合併症がまれに現れる可能性があるため、異常が認められたら直ちに適切な処置をすること。
虚血、血栓症、塞栓、血管痙攣、出血、感染、血管穿孔、空気塞栓症

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

高温、多湿、直射日光をさけ常温で保管

有効期間

外箱の表示を参照

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ビゴン・ジャポン
〒531-0071

大阪府大阪市北区中津1丁目15番15号

中津第2リッチビル3階

電話：06-6131-5300(代表)

外国製造業者：VYGON フランス